

第72回 原子力委員会定例会議議事録

1. 日 時 1996年10月15日(火) 10:30～

2. 場 所 委員会会議室

3. 議 題

- (1) 第4回OECD/NEA群分離・消滅処理情報交換会議の結果報告について
- (2) 基盤技術推進専門部会の活動状況報告について
- (3) その他

4. 審議事項

- (1) 第4回OECD/NEA群分離・消滅処理情報交換会議の結果報告について

1996年9月10日(火)から13日(金)までの4日間、水戸プラザホテルにおいて行われた標記の件について、日本原子力研究所中性子科学推進特別チーム・チームリーダー向山リエゾン・オフィサーより群分離・消滅処理に関する国際協力、各国の主要研究計画、群分離・消滅処理シナリオの評価、研究成果、技術の現状についての情報交換を行うことによって研究開発を効率的に進める目的で開催された同会議のこれまでの開催経緯、今回の議事概要等について、報告があった。

これに対し、委員より、

- ・ 加速器のエネルギー開発利用における活用が、核物理学者の間で検討されており、そのような動きも注目すべきである。

等の意見があった。

- (2) 基盤技術推進専門部会の活動状況報告について

標記の件については、事務局より、基盤技術推進専門部会及び原子力研究推進方策検討ワーキンググループの活動状況並びに原子力基盤技術開発の研究評価、原子力研究の推進方策等について、報告があった。

これに対して、委員より、

- ・ ワーキンググループの中で、基盤研究等に関して若い世代の意見を幅広く聴くことと、研究の推進にあたって幅広い専門的分野の経験を持った方々の意見を聴くこととの組み合わせをつくることが重要となる。
- ・ とかく基礎指向、基盤指向となりやすいが、応用、実用化を図る現場との関係が大切。原子力に限らない波及効果としての展開も考えられる

で、他分野との連絡をよくとってほしい。

(3) 議事録の確認

第70回原子力委員会定例会議議事録（案）及び第71回原子力委員会臨時会議議事録（案）が了承された。

以上